

ID No.	3074
研究課題名	エボラウイルス感染によるインフラマソーム活性化に関する研究
研究代表者	浦田 秀造(長崎大学感染症共同研究拠点・准教授)
研究組織 受入教員 研究分担者	一戸 猛志(東大医科研・感染症国際研究センターウイルス学分野・准教授) 長井 みなみ(東大医科研・感染症国際研究センターウイルス学分野・大学院生)
研究報告書	<p>本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、医科学研究所での実験を行うことができなかったが、本研究計画に必要な消耗品(anti-human IL-1β、biotin anti-human IL-1β、Avidin-HRP、human recombinant IL-1β、TBM buffer、ELISA用96ウェルプレート)を購入し、必要な試薬(293FT細胞、NLRP3, ASC, Caspase-1, proIL-1β発現プラスミド)と共に長崎大学へ送付していただいた。またZoomを用いたウェブ会議やメールのやり取りにより、293FT細胞を用いたNLRP3 inflammasomeの再構築系やELISAによるIL-1βの測定系を立ち上げることに成功した。今後はエボラウイルスVP40によるインフラマソーム活性化への影響に加え、他のエボラウイルスタンパク質へのインフラマソーム活性化への影響を検討する。</p>